



YMCA

月刊 The YMCA 付録

編集・発行 / 日本 YMCA 同盟 東京都新宿区本塩町7番地
大阪青年 発行：末岡祥弘 編集：大阪 YMCA 広報室
〒550-0001 大阪市西区土佐堀1-5-6
TEL06-6441-0894 FAX06-6445-0297
URL: http://www.osakaymca.or.jp/
(年10回発行) 1947年10月27日 第3種郵便物認可

大阪青年

2008 Dec. 12

No. 612

2008年度 年間聖句

「めいめい自分のことだけでなく、
他人のことにも注意を払いなさい。」
(フィリピの信徒への手紙 2章4節)

大阪YMCAの使命

大阪YMCAは、聖書に示されたイエス・キリストの愛と奉仕の生き方に学び、YMCAの世界的な運動に連なり、希望を持って、共に生きる社会の実現をめざします。

- ボランティア精神をはぐくみ、互いに協力し、明るくあたたかい地域社会の形成に努めます。
- すべての世代の人びとが、出会いと生きがいを見いだすための、生涯にわたる気づきと学びの活動を展開します。
- 未来を築く力強い子どもたちを、家庭、地域社会と共に育てます。
- 生命を尊重する心を養い、自然と人間が調和する働きをすすめます。
- 世界の人びとと力を合わせ、環境、人権、貧困の課題に取り組み、平和で公正な世界をめざします。

世界の人々に心から『メリー・クリスマス』

「世の光」

大阪YMCA副総主事

石原 いしはら

福造 ふくぞう

今年もクリスマスを祝う季節を迎えました。毎年この時期になると、なぜかともうれしい気持ちになります。クリスマスソングが街中で流れるのを聴いていると、思わず口ずさんでまいります。

YMCAに入職してすぐのことでした。YMCA阿南国際海洋センターを担当している時、ボランティアリーダーと12月にキャラバン隊を組織して夏期に利用された山間部の小学校を訪れることになりました。クリスマス時期でもありクリスマスソング、生誕劇を訪問した小学校で行いました。そして、キャラバンの最終日に、阿南に戻り阿南市民センターで近隣の教会学校の先生の協力を得てクリスマス会を開催した思い出があります。

「神の御子は今宵しもベツレヘムに生まれたもう」と讚美し、リーダーと共に「メリー・クリスマス」、イエスさまが誕生したという喜び



を伝えるのです。心がうきうきして来ます。そして、小学校でもクリスマス会場でも、リーダーの聖歌隊が讃美歌を歌っていると、会場の参加者が声を合わせて一緒に歌っているのです。いつしか会場は、イエスさまの誕生を祝い共に喜ぶ雰囲気になっていて、覚えていたのを覚えています。

クリスマスには、人々をひきつける暖かさがあります。この暖かさはどこから来るのでしょうか。クリスマスは、まさに「光」の輝きです。「光」は、神様が全世界の救いのために、貧しい家畜小屋の飼葉桶に与えてくださった希望の生命なのです。私たちに對して「今日ダビデの町で、あなたがたのために救い主がお生まれになった。この方こそメシアである。」(ルカによる福音書2章11節)と天使は語りかけているのです。私たちもこの日、私たちのために来てくださったイエスさまを思い、世界のすべての人々に心から「おめでとう」とお互い感謝と喜びを分かち合いたいものです。

地の塩

▼一月一二日は漢字の日である。「一」を「い」字・「ち」字と読み、その年の世相を一字で反映する漢字が選ばれます。昨年選ばれた一字は、皮肉なことに「偽」であった▼ヨハネによる福音書は、クリスマスの意義を次のように語っている。「その光は、まことの光で、世に来てすべての人を照らすのである」▼この複雑で厳しい時代を生きていくには、「真」と「偽」を見抜く知恵が肝要である▼ソクラテスは「大切なことは、ただ生きるのではなく、より良く生きることである」と言った。この場合「よく生きる」とは、どのように生きるのかを、常に自省しなければならぬ▼「強く生きる」ことを心がけたい。しかし、単なる勝ち負けの世界に陥ることを警戒しなければならぬ。勝ち組、負け組の言葉に翻弄されて、人と比較して一喜一憂することのないよう気をつけたい▼「うまく生きる」ことは必要である。しかし、うまく立ち回るの言葉があるように、損得の世界の泥沼を這いずり回る危険に注意しなければならぬ▼「よく生きる」とは、自己を生かし、他者を生かす世界である。共存共栄の世界である▼クリスマスを迎えるに当たって、大阪YMCAが標榜する「共に生きる社会の実現」を、聖書の言葉「すべての人を照らすまことの光」に重ね合わせて、改めて心に留めたいものである。(K)